



# Cisco Unified MeetingPlace Express との連動

---

次の各項を参照してください。

- [Cisco Unified MeetingPlace Express との連動の作成 \(P.28-1\)](#)
- [Cisco Unified MeetingPlace Express との連動の変更 \(P.28-3\)](#)
- [Cisco Unified MeetingPlace Express との連動のためのユーザの設定 \(P.28-4\)](#)
- [Cisco Unified MeetingPlace Express との連動のためのユーザ設定の変更 \(P.28-6\)](#)

## Cisco Unified MeetingPlace Express との連動の作成

Cisco Unified MeetingPlace Express がインストールされている場合は、Cisco Unity Connection を Cisco Unified MeetingPlace Express と連動させることで、ユーザが電話または Cisco Personal Communications Assistant (PCA) を使用して、会議の予定を確認し、開催中の会議に参加できるようになります。

Cisco Unified MeetingPlace Express との連動の要件は、次のとおりです。

- Cisco Unified MeetingPlace Express 2.0 以降がインストールされている。
- Connection による読み取り専用アクセスを有効にする API ユーザ アカウントが、Cisco Unified MeetingPlace Express で設定されている。

### Cisco Unified MeetingPlace Express との連動を作成する

---

- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[システム設定 (System Settings)] を展開し、[外部サービス (External Services)] をクリックします。
- ステップ 2** [外部サービスの検索 (Search External Services)] ページで、[新規追加 (Add New)] をクリックします。
- ステップ 3** [外部サービスの新規作成 (New External Service)] ページの [タイプ (Type)] ドロップダウン リストボックスで、[MeetingPlace Express] をクリックします。
- ステップ 4** [表 28-1](#) に示した設定を入力し、[保存 (Save)] をクリックします。

表 28-1 【外部サービスの新規作成 (New External Service)】 ページの設定

フィールド	設定
[タイプ (Type)]	(表示のみ) 外部サービスのタイプは「MeetingPlace Express」です。
[表示名 (Display Name)]	内容の識別に役立つ名前を入力します。
[IP アドレスまたは FQDN URL (IP Address or FQDN URL)]	Cisco Unified MeetingPlace Express サーバの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名 URL を入力します。
[アクセスを可能にする (Access Enabled)]	このチェックボックスをオンにします。 このチェックボックスがオフになっている場合、Cisco Unified MeetingPlace Express との連動は無効です。
[MPE API ユーザ ID (MPE API User ID)]	Connection が Cisco Unified MeetingPlace Express サーバへのログインで使用する API ユーザのユーザ ID を入力します。 この設定は、Cisco Unified MeetingPlace Express で設定されている API ユーザのユーザ ID 設定と一致している必要があります。
[MPE API ユーザ パスワード (MPE API User Password)]	Connection が Cisco Unified MeetingPlace Express サーバへのログインで使用する API ユーザのユーザ パスワードを入力します。 この設定は、Cisco Unified MeetingPlace Express で設定されている API ユーザのユーザ パスワード設定と一致している必要があります。
[セキュリティ転送 (Security Transport)]	適切な設定をクリックします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>[なし (None)] : Connection は、Cisco Unified MeetingPlace Express サーバとの接続にセキュリティを使用しません。</li> <li>[SSL] : Connection は、Cisco Unified MeetingPlace Express サーバとの接続に SSL を使用します。</li> </ul>
[ダイヤル文字列 (Dial String)]	電話機のユーザを Cisco Unified MeetingPlace Express サーバのガイダンスに転送するときに、Connection がダイヤルする必要のある数字を入力します。

## Cisco Unified MeetingPlace Express との連動の変更

Cisco Unified MeetingPlace Express との連動を作成した後に、連動の内容を変更できます。

### Cisco Unified MeetingPlace Express との連動を変更する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[システム設定 (System Settings)] を展開し、[外部サービス (External Services)] をクリックします。
- ステップ 2** [外部サービスの検索 (Search External Services)] ページで、Connection を Cisco Unified MeetingPlace Express と連動させたときに作成した外部サービスの名前をクリックします。
- ステップ 3** [外部サービスの編集 (Edit External Service)] ページで、必要な設定 (表 28-2 を参照) を変更して [保存 (Save)] をクリックします。

表 28-2 [外部サービスの編集 (Edit External Services)] ページの設定

フィールド	設定
[タイプ (Type)]	(表示のみ) 外部サービスのタイプは「MeetingPlace Express」です。
[表示名 (Display Name)]	内容の識別に役立つ名前を入力します。
[IP アドレスまたは FQDN URL (IP Address or FQDN URL)]	Cisco Unified MeetingPlace Express サーバの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名 URL を入力します。
[アクセスを可能にする (Access Enabled)]	このチェックボックスをオンにします。 このチェックボックスがオフになっている場合、Cisco Unified MeetingPlace Express との連動は無効です。
[MPE API ユーザ ID (MPE API User ID)]	Connection が Cisco Unified MeetingPlace Express サーバへのログインで使用する API ユーザのユーザ ID を入力します。 この設定は、Cisco Unified MeetingPlace Express で設定されている API ユーザのユーザ ID 設定と一致している必要があります。
[MPE API ユーザ パスワード (MPE API User Password)]	Connection が Cisco Unified MeetingPlace Express サーバへのログインで使用する API ユーザのユーザ パスワードを入力します。 この設定は、Cisco Unified MeetingPlace Express で設定されている API ユーザのユーザ パスワード設定と一致している必要があります。
[セキュリティ転送 (Security Transport)]	適切な設定をクリックします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>[なし (None)] : Connection は、Cisco Unified MeetingPlace Express サーバとの接続にセキュリティを使用しません。</li> <li>[SSL] : Connection は、Cisco Unified MeetingPlace Express サーバとの接続に SSL を使用します。</li> </ul>
[ダイヤル文字列 (Dial String)]	電話機のユーザを Cisco Unified MeetingPlace Express サーバのガイダンスに転送するときに、Connection がダイヤルする必要のある数字を入力します。

## Cisco Unified MeetingPlace Express との連動のためのユーザの設定

Cisco Unified MeetingPlace Express と連動できるようにユーザを設定する必要があります。



(注)

Cisco Unified MeetingPlace Express は、設定する Connection ユーザごとにエンド ユーザを必要とします。

### Cisco Unified MeetingPlace Express との連動のためにユーザを設定する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[(ユーザ (Users))] を展開し、[ユーザ (Users)] をクリックします。
- ステップ 2** [ユーザの検索 (Search Users)] ページで、ユーザのエイリアスをクリックします。
- ステップ 3** [ユーザの基本設定の編集 (Edit User Basics)] ページで、[編集 (Edit)] メニューの [外部サービスのアカウント (External Service Accounts)] をクリックします。
- ステップ 4** [外部サービスのアカウント (External Service Accounts)] ページで、[新規追加 (Add New)] をクリックします。
- ステップ 5** [外部サービスのアカウントの新規作成 (New External Service Account)] ページで、表 28-3 に示した設定を入力して [保存 (Save)] をクリックします。

表 28-3 [外部サービスのアカウントの新規作成 (New External Service Account)] ページの設定

フィールド	設定
[サービス タイプ (Service Type)]	[MeetingPlace Express] をクリックします。
[MeetingPlace Express サーバ (MeetingPlace Express Server)]	Cisco Unified MeetingPlace Express との連動のために入力した表示名をクリックします。

表 28-3 [外部サービスのアカウントの新規作成 (New External Service Account)] ページの設定 (続き)

フィールド	設定
[認証オプション (Authentication Options)]	<p>適切なオプションをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [ユーザの CUC エイリアスを使用してログイン (Log in Using the User's CUC Alias)] : このオプションは、Cisco Unified MeetingPlace Express の [Connection ユーザ ID (Connection User ID)] 設定が Connection ユーザ エイリアスと同一である場合に便利です。Connection は、Connection ユーザ エイリアスを使用してユーザをログインさせます。Cisco Unified MeetingPlace Express は、パブリック会議とプライベート会議に関する情報をユーザに提供します。</li> <li>• [「ゲスト」としてログイン (Log in as "Guest")] : Connection は、Connection ユーザ エイリアスおよび [ユーザ ID (User ID)] 設定を使用せずに、ユーザをゲストとしてログインさせます。Cisco Unified MeetingPlace Express は、パブリック会議に関する情報のみをユーザに提供します。</li> <li>• [MPE エンドユーザ ID を使用してログイン (Log in using MPE End User ID)] : Cisco Unified MeetingPlace Express の [ユーザ ID (User ID)] 設定を入力します ([ユーザ ID (User ID)] 設定が Connection ユーザ エイリアスと異なる場合に便利です)。Connection は、このフィールドの設定を使用してユーザをログインさせます。Cisco Unified MeetingPlace Express は、パブリック会議とプライベート会議に関する情報をユーザに提供します。</li> </ul>

**ステップ 6** 残りすべてのユーザについて、[ステップ 2](#) ～ [ステップ 5](#) を繰り返します。

## Cisco Unified MeetingPlace Express との連動のためのユーザ設定の変更

Cisco Unified MeetingPlace Express との連動のために設定したユーザ外部サービス アカウントの内容を変更できます。

### Cisco Unified MeetingPlace Express との連動のためのユーザ設定を変更する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[(ユーザ (Users))] を展開し、[(ユーザ (Users))] をクリックします。
- ステップ 2** [(ユーザの検索 (Search Users))] ページで、ユーザのエイリアスをクリックします。
- ステップ 3** [(ユーザの基本設定の編集 (Edit User Basics))] ページで、[編集 (Edit)] メニューの [(外部サービスのアカウント (External Service Accounts))] をクリックします。
- ステップ 4** [(外部サービスのアカウント (External Service Accounts))] ページの [(アカウントログイン (Account Login))] カラムで、Cisco Unified MeetingPlace Express サービスのユーザ エイリアスをクリックします。
- ステップ 5** [(外部サービスのアカウントの編集 (Edit External Service Account))] ページで、必要な設定 (表 28-4 を参照) を変更して [(保存 (Save))] をクリックします。

表 28-4 [(外部サービスのアカウントの編集 (Edit External Service Account))] ページの設定

フィールド	設定
[サービス タイプ (Service Type)]	[(MeetingPlace Express)] をクリックします。
[MeetingPlace Express サーバ (MeetingPlace Express Server)]	Cisco Unified MeetingPlace Express との連動のために入力した表示名をクリックします。
[認証オプション (Authentication Options)]	適切なオプションをクリックします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>[(ユーザの CUC エイリアスを使用してログイン (Log in Using the User's CUC Alias))]: このオプションは、Cisco Unified MeetingPlace Express の [(Connection ユーザ ID (Connection User ID))] 設定が Connection ユーザ エイリアスと同一である場合に便利です。Connection は、Connection ユーザ エイリアスを使用してユーザをログインさせます。Cisco Unified MeetingPlace Express は、パブリック会議とプライベート会議に関する情報をユーザに提供します。</li> <li>[(「ゲスト」)としてログイン (Log in as "Guest"))]: Connection は、Connection ユーザ エイリアスおよび [(ユーザ ID (User ID))] 設定を使用せずに、ユーザをゲストとしてログインさせます。Cisco Unified MeetingPlace Express は、パブリック会議に関する情報のみをユーザに提供します。</li> <li>[(MPE エンド ユーザ ID を使用してログイン (Log in using MPE End User ID))]: Cisco Unified MeetingPlace Express の [(ユーザ ID (User ID))] 設定を入力します ([(ユーザ ID (User ID))] 設定が Connection ユーザ エイリアスと異なる場合に便利です)。Connection は、このフィールドの設定を使用してユーザをログインさせます。Cisco Unified MeetingPlace Express は、パブリック会議とプライベート会議に関する情報をユーザに提供します。</li> </ul>

**ステップ 6** 残りすべてのユーザについて、[ステップ 2](#) ~ [ステップ 5](#) を繰り返します。

---

